

# 亀岡市立育親学園の開校に向けて

令和5年2月1日発行 Vol.4

地域の皆様と組織する「亀岡市立育親学園の開校に向けた調整会議」では育親学園に関する様々な事項の検討を行っており、これまでに幹事会、グループ会議合わせて15回以上の会議を開催しています。今回は、グループごとの取組の進捗をお知らせします。

## 新学校コンセプト検討グループ

### 育親学園のコンセプトが決定！！

#### 育親学園コンセプト

ふるさとをいつくしむ 豊かな心と 未来を創造する力を育む学園

郷

親

創

育

新学校コンセプト検討グループでは育親学園のコンセプト案を作成するため、児童生徒、保護者、地域住民、教職員などの想いを考慮し、どのような学校を目指すのかということを議論してまいりました。

そして、地域やふるさとを意味する「郷（きょう）」、人とのつながりややさしさを意味する「親（しん）」、チャレンジや自己創出を意味する「創（そう）」、自ら育つことやみんなで育てることを意味する「育（いく）」の4文字をコンセプトの核とし「ふるさとをいつくしむ 豊かな心と 未来を創造する力を育む学園」をコンセプト案とすることにまとまりました。

このコンセプト案には、子どもたちが地域とともにあることで豊かな心を育むとともに自立した一人の人間として力強く生き社会を構成していく力（人間力）を育める学校であってほしいという想いが込められています。

グループでは校章や校歌の決定に向けて引き続き検討を進めてまいります。



## 教育・学習環境検討グループ

教育・学習環境検討グループでは検討事項を「①事前交流」「②校時表」「③部活動」「④校則」「⑤育親学園独自の教育活動」の5点に絞って会議を進めています。現在、優先的に議論していく事項として4校の事前交流に関する協議を進めています。委員からは、各学校の行事に参加しあたり、慣れるためにある程度の頻度を確保した方が良いのではという意見のほか、低学年の児童にとっては一つ一つの行事が大きな負担となり得ることや教職員の負担への配慮、交流も大切だがしっかりと学習保障もしなければいけないといった意見なども出されています。

また、教育・学習環境検討グループの視点から提案・意見交換をするため現育親中学校校舎の施設見学も行いました。



## 通学・施設検討グループ

通学・施設検討グループでは、主に通学方法やルート案の検討と学校施設に対する意見集約を行うこととしています。

通学関係では、令和4年度中に通学ルート案を決定することを目指し、基準となる通学距離・通学時間の確認を行い、通学路の危険箇所等を把握するために実際に歩くなど安全面の確認をしていくことや同じ通学路でありながら前期課程と後期課程で通学方法が異なる可能性があることに対する意見交換を行っています。今後は、スクールバスの利用範囲の決定に係る課題を検討し、運用ルールに対する意見をめとめていく予定をしています。

施設に関しては、「義務教育学校として育親中学校を使用する場合に気になる点」と「新たに建設する校舎に備えたい機能」を確認するという目線で育親中学校校舎を見学し、意見集約を進めています。

## 最後に

現在、育親学園の校章のデザイン募集を行っています。新たな学校にふさわしい校章とするため、皆様からの御応募をお待ちしています（募集期間：令和5年1月27日（金）午前9時00分から令和5年2月28日（火）午後5時まで）

また、これまでの育親中学校ブロック協議会の議事録や広報紙等は亀岡市ホームページで公開しています。こちらも是非御覧ください（<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/43/4074.html>）

引き続き、地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせはこちらへ

亀岡市教育委員会 教育総務課 0771-25-5052

